

## 修来学校 ～ おらほの学校

### 創立記念日(12/15)に寄せて 校長講話より

毎年、この日に振り返る大切な話は、学校ができた時の名前のお話です。

「**修来学校**」しゅうらいがっこう という名前で、修は修めると読み、普通は学業を修めるという意味に使われます。

来は来るの旧字体で、普通はおいで下さるという意味になります。ですから、修来学校をひらたく言うと、「おべんきょうにおいでよ おらほの学校さ」になるのでしょうか。

それまでは、勉強ができるのは男の子だけ、それも武士や名主の息子、という力のある家の男の子だけでした。それを、どこの家の男の子も女の子も勉強においでよと呼びかけているのが、この「修来学校」の名前の由来だそうです。

この考え方は干布小学校の応援隊である「おらほの学校づくり委員会」として今年も続いています。今年も、コロナの心配があったのにも関わらず、地域の多くの方々にご協力いただきました。

さらに、今年は、HVCの若者の皆さんにもお世話になりました。

HVCというのは、「ほしぬのボランティアサークル」と言って、高校生以上からなるサークルで主に姉妹校である東京新宿区立四谷小学校との交換留学のお手伝いをしています。

干布地区では昭和48年から東京新宿区立四谷小学校との交換留学が続いています。今年で48年目です。しかし、コロナで中止になりました。

小学校最後の活動が次々なくなって6年生がかわいそうだ、との思いから今年は特別に「そば打ち体験」を企画してくれました。

時々学校にきて一緒に勉強したり遊んでくれたりする陸先生もこのサークルの一人です。優しくて頼りになるお兄さんですね。

このように、干布地区には、学校ができた141年前から「おらほの学校」として干布の子供たちをみんなで大事にしてきました。その気持ちがずっと、ずっと続いています。

困った時に相談にのってくれる優しいお兄さん、お姉さんや地域の方々がいるって、とても心強いですよね。みんなも大きくなったら、今度は小学生に教えてあげられるような人になってほしいなと思います。

そして「修来学校」から始まった、素敵なおらほの学校である干布小学校がこれからもずっと続いてほしいなと思います。



結果を分析して  
つなぐ・かわる

図書委員会が本に親しんでもらおうと11月に「読書マラソン」を企画しました。

5冊借りると次は3冊借りられるという内容で、専用カードを6年生と4年生の男子2名がパソコンでつくりました。

その結果、1学年の貸出冊数の増加が顕著だったほか、他の学年でも増加が見られました。図書委員会の新企画が結果につながっています。

これからも、自分たちの企画が学校生活にどう変化をもたらしているのか、調査分析して、さらに効果的なアイデアが出たら面白いのではないのでしょうか。



また、全体的には、昨年度、一昨年度と比較すると、貸出冊数が増加しています。今年度は休みの日、自宅にいる時間が長くなると思います。読書に浸ってみてはいかがでしょうか。



主な行事予定

- 7日(木) 3学期始業式 発育測定(1~3年)  
3年保護者会
- 8日(金) 避難訓練(冬の避難経路確認)  
通学班長会
- 12日(火) 書き初め会 委員会活動
- 13日(水) 発育測定(4~6年)
- 15日(金) いじめ防止対策委員会②
- 19日(火) 朝会
- 20日(水) 授業参観・学級懇談会(1,2,4,6年)
- 22日(金) 代表委員会
- 26日(火) 朝会 学校保健委員会②
- 28日(木) 委員会活動
- 29日(金) 新入生一日入学 弁当持参日



12/21 なかよし2組の児童がプログラミングした「シャボン玉ゲーム」を山形工業高校電気・電子科の3年生にリモートで説明しているところ。その他、自作の「積み木崩し」や「九九あてクイズ」ゲームを紹介したりアドバイスをもらったりしました。



コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度予定していた「ぶどうの実」の方々による読み聞かせは、誠に残念ですが、中止させていただくことにいたしました。

これからも感染状況による変更が予想されます。詳細については随時学校ホームページでお知らせしております。学校の様子も含め、ぜひご覧ください。  
学校ホームページ <https://www.hosinuno.jp/>

